

31115 疫学 Epidemiology		1 年次～ 後期 2 単位																			
担当者	岩井 浩一	履修可能学科	N 必																		
		関連資格	保健・教職必(N)																		
サブタイトル	科学的根拠に基づいた看護（EBN）・地域保健活動のための基礎的方法論																				
授業内容 ・ ねらい	疫学は、人間集団の健康に及ぼす環境因子の影響を調べ、疾病を予防する上で重要な学問領域です。この授業では、疫学の基礎的概念や考え方を学び、環境因子と健康の関連について理解し、予防医学的な考え方ができるようになることを目的とします。科学的根拠に基づいた看護（Evidence-Based Nursing: EBN）、地域保健活動に役立つような知識、技術、態度を習得することをねらいとします。																				
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1) 疫学概念、疫学の歴史</td> <td>10) 偶然誤差と系統誤差、偏りと交絡</td> </tr> <tr> <td>2) 曝露と疾病、因果関係の考え方</td> <td>11) スクリーニング、ROC曲線</td> </tr> <tr> <td>3) 疾病頻度の測定（罹患率、有病率、致命率）</td> <td>12) 統計的解析</td> </tr> <tr> <td>4) 疫学指標（粗死亡率、年齢調整死亡率）、生命表</td> <td>13) 感染症の疫学</td> </tr> <tr> <td>5) 相対危険と寄与危険、オッズ比</td> <td>14) がん・循環器疾患の疫学</td> </tr> <tr> <td>6) 記述疫学、生態学研究と横断研究</td> <td>15) 公衆衛生学分野での応用、まとめ</td> </tr> <tr> <td>7) 分析疫学（コホート研究）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8) 分析疫学（ケースコントロール研究）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9) 介入研究</td> <td></td> </tr> </table>			1) 疫学概念、疫学の歴史	10) 偶然誤差と系統誤差、偏りと交絡	2) 曝露と疾病、因果関係の考え方	11) スクリーニング、ROC曲線	3) 疾病頻度の測定（罹患率、有病率、致命率）	12) 統計的解析	4) 疫学指標（粗死亡率、年齢調整死亡率）、生命表	13) 感染症の疫学	5) 相対危険と寄与危険、オッズ比	14) がん・循環器疾患の疫学	6) 記述疫学、生態学研究と横断研究	15) 公衆衛生学分野での応用、まとめ	7) 分析疫学（コホート研究）		8) 分析疫学（ケースコントロール研究）		9) 介入研究	
1) 疫学概念、疫学の歴史	10) 偶然誤差と系統誤差、偏りと交絡																				
2) 曝露と疾病、因果関係の考え方	11) スクリーニング、ROC曲線																				
3) 疾病頻度の測定（罹患率、有病率、致命率）	12) 統計的解析																				
4) 疫学指標（粗死亡率、年齢調整死亡率）、生命表	13) 感染症の疫学																				
5) 相対危険と寄与危険、オッズ比	14) がん・循環器疾患の疫学																				
6) 記述疫学、生態学研究と横断研究	15) 公衆衛生学分野での応用、まとめ																				
7) 分析疫学（コホート研究）																					
8) 分析疫学（ケースコントロール研究）																					
9) 介入研究																					
教科書 参考書	参『今日の疫学』（第2版）、医学書院。『地域保健活動のための疫学』日本公衆衛生協会。『はじめて学ぶやさしい疫学』南山堂。『基礎から学ぶ楽しい疫学』医学書院。『国民衛生の動向』厚生統計協会。																				
評価方法	試験を実施します。																				
事前準備学習 履修条件等																					